

会 報

No.79 (2004 年 11 月)

目 次

第 14 期評議員選挙について	1
第 13 期第 3 回評議員会議事録	3
Genes to Cells 編集部よりお知らせ	4
日本分子生物学会 2003 年度会計収支決算報告	5
2003 年度会計監査報告	6
第 27 回 (2004 年) 日本分子生物学会年会のお知らせ (その 3)	6
第 27 回総会のご案内	10
日本分子生物学会三菱化学奨励賞授賞式および受賞講演のご案内	10
第 5 回日本分子生物学会春季シンポジウムのご案内	11
学術賞、研究助成の本学会推薦について	12
各種学術集会、シンポジウム、講習会等のお知らせ	13
○ 東京医科歯科大学 生命科学の知的財産権に関する国際シンポジウム	13
○ 千里ライフサイエンス技術講習会第 37 回	13
その他	14
○ 2005 年度女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」 および「奨励賞」候補者募集	14
○ 平成 17 年度に委託する研究開発課題募集	14

日 本 分 子 生 物 学 会
(THE MOLECULAR BIOLOGY SOCIETY OF JAPAN)

URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/mbsj/>

会員名簿の取扱いについて

最近、電話によるマンション等の購入の勧誘で、日本分子生物学会の会員名簿が使われているとの苦情が複数寄せられています。会員名簿は個人情報を含んでおりますので、取扱いには十分な注意を払われますようお願いいたします。

(庶務幹事 多羽田 哲也)

日本分子生物学会の事務局は以下へ移転いたしました。

入退会、住所変更等については、会員係までご連絡下さるようお願いいたします。また、年度会費の定期請求については、11月下旬に会員の皆様へ発行させて頂く予定です。

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 1st ジェネシスビル5F

(株)メディ・イシュ内
日本分子生物学会事務局

TEL: 03-5805-1901 FAX: 03-5805-1092

日本分子生物学会 第14期評議員選挙について

日本分子生物学会会則第11条と同細則第7条によって、第14期評議員選挙を行います。そのため、深田吉孝（東大・院理）、飯野雄一（東大・遺伝子実験）、前田達哉（東大・分生研）の3氏が選挙管理委員として会長より委嘱されました。

次いで選挙管理委員3名の打合せを経て、具体的には次のように選挙を行うことになりましたので、会員各位のご協力をお願いいたします。

記

今回の選挙における選挙権者、被選挙権者は、2004年8月31日までに入会手続きを行った正会員とします。同封の「会員名簿」より10名を選んで、その氏名を投票用紙にご記入下さい。投票用紙を同封の小封筒（投票用紙在中と印刷）に入れ、封をした後、同封の送付用封筒（選挙管理委員会御中と印刷）に入れて、ご自分の住所、所属および氏名を記入のうえご送付下さい。

先の会報でお知らせしましたように14期評議員選挙に際しては投票の参考のために評議員会により155人の候補参考リストが作成されました。同封のリストを御覧下さい。このリストはあくまでも参考リストであり、このリスト以外の会員への投票を何ら妨げるものではありません。

投票締切日：2004年12月1日（水）必着

開票予定日：2004年12月4日（土）

当選者の決定：得票数の多い順に30名を当選者とします。同数得票の場合は年長順とします。

なお、次の場合には投票または被記名者が無効となりますので、ご注意下さい。

- 1) 投票用紙に11名以上連記した場合。ただし10名以下の場合には有効です。
- 2) 投票者の氏名が送付用封筒に記入されていないとき。
- 3) 日本分子生物学会細則第7条3項により、以下の方は連続して評議員になることができませんので、今回は記名しないで下さい。なお、この方々に投票のあった場合には、その方に関してのみ、無効といたします。

相沢慎一、大石道夫、岡田清孝、小川英行、榊 佳之、品川日出夫、篠崎一雄、清水信義、月田承一郎、中西重忠、西田栄介、升方久夫、町田泰則、御子柴克彦、山本正幸

2004年11月1日

日本分子生物学会選挙管理委員会

深田 吉孝

飯野 雄一

前田 達哉

<参 考>

会 則（抜すい）

第10条 本会には、会長1名、評議員若干名、会計監査2名の役員をおく。

1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 評議員は評議員会を構成し、本会に関する諸事項を審議する。
3. 会計監査は本会の会計を監査する。

第11条 評議員は正会員の中から正会員の投票により選出される。会長は評議員の互選により定める。会計監査は評議員、幹事以外の正会員の中から評議員の投票により選出される。役員の任期は2年とする。

細 則（抜すい）

第7条 評議員の選出は次のように行う。

1. 会長は正会員の中から3名を選んで選挙管理委員を委嘱する。
選挙管理委員会は選挙事務を行う。
2. 投票は1人1票、無記名10名連記とし、郵送によるものとする。
3. 評議員は連続して3回選出されることはできない。この制限に抵触する者の氏名は選挙要項に公告される。
4. 得票者中の上位の者より順に30名を選出する。同数得票者については選挙要項に従って順位を定める。

第8条 新会長の選任は次のとおり行う。

1. 会長は新評議員を招集する。新評議員の互選により新会長を選ぶ。
2. 投票は無記名单記とする。投票総数の過半数を得た者を新会長とする。
3. 投票総数の過半数を得た者がいないときは、高点順に2名をとり改めて投票を行い、最高点を新会長とする。このとき同点の場合には抽選により決定する。
4. 会長は連続して3回選出されることはできない。
5. 会長は評議員を兼ねるものとする。

今回の学会事務センター破産問題では会員の皆様に多大のご心配とご迷惑をおかけいたしました。執行部は今後このようなことが二度と起こらないように、学会運営に細心の注意を払っていく所存です。経緯のまとめについては評議員会の議事録をご覧ください。

第13期第3回評議員会 議事録

日時：2004年10月9日 14:00～17:00

場所：パレスビル3階

出席者：山本会長

相沢、荒木、大石、工藤、鍋島、西田、升方、養島評議員

花岡、飯野、松本、上村、杉本、多羽田幹事

委任状と合わせて評議員会は成立した。

報告事項

財団法人学会事務センターの破産について

本学会の学会事務業務を委託していた財団法人学会事務センターが破産したが、会員の会費をもとにした本学会の資産は損害なく完全に保全されている。ただし別会計の第27回年会の準備運営資金には約250万円の損害が生じ、回収不能となった。これについては裁判所に破産債権届出書を提出したが、返金の可能性はほとんどゼロである。

また第26回年会から第28回年会への繰越金350万円も消滅し、今回の事態で日本分子生物学会関係の被害総額は約600万円となった。学会事務センターの業務停止に対処するために、評議員会の承認のもと、本学会事務局の住所を一時的に東京大学分子細胞生物学研究所に移動させた。

協議事項

1. 本学会の学会事務業務の委託について

学会事務センターに代わる学会事務業務委託先を検討した結果、株式会社メディ・イシュに委託することが承認された。同社は学会事務センターの破産管財人により受け皿会社として選定され、本学会を担当していた職員を含む同センターの職員約20名が雇用されている。

委託契約にあたっては、学会の専用口座に会費が納入されることとし、旧学会事務センターの経営で問題となった学会資産と運営経費の混同が起こらないことを確認する。さらに会員の個人情報の本学会の活動の趣旨以外に使用されないことを確認する。業務委託経費に関しては現行より若干少なくなる見通しである。

メディ・イシュ社との委託契約成立に伴い、学会事務局の住所を同社内におくように学会細則を変更することを承認した。

旧事務センターのサーバにある会員情報の消去を確認するよう意見が出され、そのように対応することとなった。

2. 14期評議員候補参考リストの作成

評議員および会長の推薦により155名の評議員候補参考リストを作成し、承認した。

Genes to Cells 編集部よりお知らせ

編集長の報告

本雑誌の編集、出版、購読にはかねがね御協力いただき感謝しております。9巻の編集も完了し、刊行事業はほぼ順調に進んでいます。刊行について、いくつかの進展がありましたので御報告します。

かねてから、すすめていた Highwire Press を通しての online の刊行が本年7月から行われるようになりました。直接 <http://www.genestocellsonline.org> から、または <http://highwire.stanford.edu/> を通して検索ができます。このもっとも権威のある Online press への接続は本誌および掲載される論文の評価の推進に大いに役立つと期待しています。また、雑誌は刊行後1か月間および刊行6か月以後は誰でも無料で読めるようになりました。さらに、創刊号からの総ての論文が online で検索できます。これにより、はじめて、この本誌も一般に開かれた雑誌になったといえましょう。昨年9月からは ScholarOne 社を通じての Electronic Submission と Editing をはじめました。現在、すでに約90%の投稿は Electronic Submission です。技術上の改良を進めておりますので、来年はさらに便利なものになるでしょう。

論文の投稿については、記すまでもないことですが、原稿の作成には投稿規定を遵守してください。論文の表題は、本誌が広い読者を対象とする雑誌であることを考慮し、専門用語、略語はできるだけ避け、なるべく多くの読者にわかりやすいものにしてください。細部にわたりますが、下記の点、御留意くだされば編集部は大変たすかります。

Abstract: 200字以内、single paragraph

Reference: 著者が7名以上(6名までは全員)の場合は3名を記し、以下は et.al.

未発表論文の引用には、著者全員の名前を記入してください。また (our unpublished results) とするのが便利な場合が少なくありません。

Abbreviation: 略号ははじめて記載されるときに本文中に示してください。略号をまとめて掲載しません。

Figure & Table: 図表は仕上がり(論文中での美感)をよく考えて作成してください。字の大きさ等、美感を疑わせるものが少なくありません。

図は規定の大きさ(それぞれ1M bites, 縦横合計4,000 pixel 以下)をこえないようにして下さい。

かさねて、雑誌のホームページ (<http://www.blackwellpublishing.com/gtc>) または学会のホームページ (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/mbsj/gene2cell.html> - submission) の投稿規定を遵守されることをお願いいたします。

なお、2005年から本誌の Production Editor と Office が下記に変わります。

Production Editor: Asdis Thorsteinsson

Office: Blackwell Publishing, Inc., 350 Main Street, Malden, MA 02148-5018, U.S.A.

Phone: 781-388-8520 / Fax: 781-338-8520/

E-mail: athorsteinsson@bos.blackwellpublishing.com

編集者一同皆様のお役にたつよう心掛けております。投稿をお待ちしています。

御意見がありましたら tomizawa@lab.nig.ac.jp まで御寄せください。

2004年10月20日

富澤 純一 (Genes to Cells 編集長)

日本分子生物学会 2003 年度会計収支決算報告

2003 年度学会会計収支決算は以下の通りになりましたのでご報告いたします。

(第 13 期 会計幹事 杉本亜砂子)

2003 年度日本分子生物学会収支決算報告書

(2003 年 4 月 1 日 ~ 2004 年 3 月 31 日)

収入の部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
学 会 費	49,430,000	52,691,275	正会員会費： <u>37,879,000円</u> (2003：4500円 × 7965名、他：2,036,500円)
賛 助 会 費	1,350,000	1,380,000	学生会員会費： <u>11,825,500円</u> (2003：3000円 × 3643名、他：896,500円)
預 金 利 子	100,000	12,092	海外会員会費 (212名)： <u>847,775円</u>
国 際 誌 購 読 謝 礼 金	1,300,000	1,916,388	入会金 (2139名分)： <u>2,139,000円</u>
雑 収 入	50,000	49,000	
寄 付 金 収 入	0	6,300,000	三菱化学より130万円 (奨励賞に充当)
収 入 小 計	52,230,000	62,348,755	
前年度繰越金	29,071,682	29,071,682	
合 計	81,301,682	91,420,437	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
事 業 費	25,500,000	26,617,515	
会報発行	3,200,000	2,596,235	
年会補助金	5,000,000	5,000,000	
春季シポジウム補助金	7,000,000	7,000,000	
国際誌発行支援金	5,300,000	6,906,580	
// オンラインアクセス費用	3,500,000	4,350,000	ブラックウエル社支払い (フリーアクセス料100万円含む)
国際誌購読関係費	700,000	749,700	
ホームページ関係費	300,000	0	
事業費予備費	500,000	15,000	
評 議 委 員 会 費	1,000,000	1,034,260	
委員会費	1,000,000	1,034,260	
選挙・名簿作成費	0	0	
業 務 委 託 費	13,000,000	15,630,058	
一 般 事 務 費	12,700,000	12,619,002	
印刷費	300,000	239,254	
通信費	11,400,000	11,246,728	プログラム、会報等郵送料
庶務事務費	650,000	680,000	庶務事務費50万円、広報幹事謝金18万円
雑 費	350,000	453,020	
三菱化学奨励賞 関係費	0	1,026,985	副賞100万円 (2名)、賞状筆耕代他
予 備 費	2,000,000	747,347	メール一括配信費用
支 出 小 計	54,200,000	57,675,167	
次年度繰越金	27,101,682	33,745,270	
合 計	81,301,682	91,420,437	

2003 年度会計監査報告

日本分子生物学会 2003 年度収支決算報告に際し、会計帳簿、銀行残高証明書、領収書、出納記録などの監査を行い、決算に誤りのないことを確認しました。

日本分子生物学会第 13 期会計監査

2004 年 6 月 23 日 磯野克己 印

2004 年 6 月 25 日 大坪栄一 印

第 27 回 (2004 年) 日本分子生物学会年会のお知らせ (その 3)

第 27 回年会は、12 月 8 日 (水) から 11 日 (土) の 4 日間、神戸国際展示場、神戸国際会議場、ポートピアホテル、ワールド記念ホール他で開催されます。奮ってご参加ください。

本年度年会の概要は次の通りです。詳細は、同封のプログラムをご参照ください。

会 期：2004 年 12 月 8 日 (水) ~ 11 日 (土)

会 場：神戸国際展示場、神戸国際会議場、ポートピアホテル、ワールド記念ホール、
神戸商工会議所会館
(神戸市中央区港島中町 6 丁目)

参加受付：2004 年 12 月 8 日 (水) 8:10 ~ 於：神戸国際展示場 2 号館 1 階

当日参加費：正会員 10,000 円、学生会員 7,000 円、非会員 11,000 円

学術プログラム：

スペシャルレクチャー「Sydney Brenner, 60min. Molecular Biology in the Last Quarter of a Century」

日 時：2004 年 12 月 8 日 (水) 18:15 ~ 19:15

会 場：M 会場 (ポートピアホテル・ポートピアホール)

演 者：Sydney Brenner 博士 (President, Okinawa Institute of Science and Technology)

スペシャルシンポジウム「性と種を超えて」

日 時：2004 年 12 月 11 日 (土) 13:15 ~ 15:30

会 場：C 会場 (神戸国際会議場・メインホール)

演 者：河野友宏 (東京農大・生物応用科学)

高山誠司、磯貝 彰 (奈良先端大・バイオサイエンス)

河岡義裕 (東大・医科研)

シンポジウム

第 1 日目から 3 日目に各日 4 会場並行で行います。

日 時：2004 年 12 月 8 日 (水) ~ 10 日 (金) 9:00 ~ 11:00

テーマ：12 テーマ 47 演題

ワークショップ

年會会期中に毎日最大 17 会場並行で行います

日 時：2004 年 12 月 8 日（水）～ 10 日（金） 15:15 ～ 18:00

2004 年 12 月 11 日（土） 9:15 ～ 12:00

テーマ：65 テーマ 514 演題（うち 130 題が一般演題より採択されました）

ポスターセッション

日 時：2004 年 12 月 8 日（水）～ 10 日（金） 9:00 ～ 18:00

説明・討論：奇数番号 11:00 ～ 12:00 / 偶数番号 14:00 ～ 15:00

演題数：3,671 題

学会と社会との接点等に関するワークショップ

第 4 日目に 4 会場並行で行います。

日 時：2004 年 12 月 11 日（土） 13:15 ～ 15:30

テーマ：1. 高校教師が訴える「ぜひ研究者にお伝えしたい遺伝子教育の危機的状況」

2. 生命科学研究の現場と社会：双方向のコミュニケーション

3. 21 世紀の生物研究における知識の共有と理解の展開

4. 第 3 回男女共同参画シンポジウム

女性研究者が PI（研究グループのリーダー）になるには？

公開講座「来た・見た・解った！分子が織りなす生命メカニズム」

日 時：2004 年 12 月 12 日（日） 13:00 ～ 17:00（年會終了後）

会 場：京都大学百周年時計台記念館

演 者：上村 匡（京大・院生命科学）

「遺伝子は細胞のデザイナー」

垣塚 彰（京大・院生命科学）

「神経細胞が死ぬ病気はなぜおこるの？」

西村いくこ（京大・院理）

「細胞の中をのぞいてみよう」

特別企画「ナショナルバイオリソース」

昨年度に引き続き、今年度は日本分子生物学会と文部科学省およびナショナルバイオリソースプロジェクト推進委員会の共催でリソースの利用促進ならびにリソースを利用する研究者間の交流を図るため、シンポジウムとパネル展示を行います。

シンポジウム

日 時：2004 年 12 月 9 日（木） 15:15 ～ 18:00

会 場：E 会場（神戸国際会議場 4 階 401 / 402）

パネル展示

日 時：2004 年 12 月 8 日（水）～ 12 月 11 日（土）

会 場：神戸国際会議場 3 階 レセプションホール

バイオテクノロジーセミナー

計36社の企業主催により、第1日目から3日目に各日12会場並行にてランチョンセミナー形式で行います。

日時：2004年12月8日（水）～10日（金） 12:15～13:45

テーマ：36テーマ

講演要旨集

講演要旨集は、2004年11月25日（木）に発行を予定しております。

年会事前参加登録をされた方（参加費には講演要旨集1冊の代金が含まれます）および講演要旨集を申し込まれた方には事前にお送りいたします。

年会期間中の宿泊についてのお問合せ

本年会のオフィシャルトラベルエージェントであるJTB西日本イベント・コンベンション営業部を通して会期中の宿泊予約ができます。

会報No.78に綴込みの「宿泊ホテルのご案内」、および年会ホームページに掲載の「会期中の宿泊のご案内」をご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは下記に直接ご連絡ください。

JTB西日本イベント・コンベンション営業部

「第27回日本分子生物学会年会係」担当：崎元

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル

E-mail：machiko_sakimoto@kns.jtb.co.jp

Tel：06-6260-5076 Fax：06-6263-0717

年会期間中の保育室開設のお知らせ

保育室

期間：2004年12月8日（水）～11日（土）

保育期間：原則、年会プログラム開始時間の30分前～プログラム終了時間の30分後。

12月8日（水） 8:30～20:00

12月9日（木） 8:30～20:00

12月10日（金） 8:30～19:00

12月11日（土） 8:30～16:00

対象：生後8週以降から小学校3年生まで（4年生以上も応相談）

保育形態：ベビーシッター会社からの派遣シッターによる託児

委託先：(株)ポピンスコーポレーション（芦屋支社）

保育料：400円/時間

申込先：(株)ポピンスコーポレーション（芦屋支社）

E-mail：ashiya@poppins.co.jp

Fax：0797-38-4381 Tel：0797-32-2100（受付時間9:00～17:30）

お申し込みの際には、①利用日・時間（開始～終了）②保護者のお名前③お子様のお名前・年齢・性別④連絡先電話番号を必ずお知らせください。

お申し込みいただいた方には、ポピンスコーポレーションより事前にお電話で、お子様について詳細をお伺いいたします。メールでお申し込みされた方で、12月4日（土）までにポピンスコーポレーションよりお電話連絡がない場合は、上記宛に必ず電話でご連絡ください（メール不備等による申込漏れ防止のため）。

申込締切：2004年12月3日（金）

なお、不測の事故に対応するために、シッター会社が保険に加入しており、保険適用範囲では補償されますが、日本分子生物学会および第27回年会組織委員会は、事故の責任を負わないことを申し添えます。

親子休憩室

期 間：2004年12月8日（水）～11日（土）

年会プログラム開始時間の30分前～プログラム終了時間の30分後

場 所：神戸国際会議場 4階405号室
神戸国際展示場2号館 2階2B会議室
ワールド記念ホール 1階 控室E

予約は不要ですので、お子様とご一緒の食事や休憩、授乳あるいはオムツ換えなどにご利用ください。ただし、お子様単独でのご利用はご遠慮ください。また、今後の参考に利用状況の調査を行います。利用された方は、部屋に備え付けのアンケート用ノートに利用者のお名前、所属、お子様の人数、利用時間、その他ご意見などをご記入いただきますようお願いいたします。

なお、親子休憩室内で起きた事故や怪我に対して、日本分子生物学会、第27回年会組織委員会および(株)ポピンズコーポレーションは、一切の責任を負わないことを申し添えます。

会場の所在地

電話番号およびFax番号は、各会場の代表番号ですので、年会に対するお問合せは、年会事務局までお願いします。

○ 神戸国際展示場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-11-1

Tel：078-303-7516（代表） Fax：078-302-1870

○ 神戸国際会議場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1

Tel：078-302-5200（代表） Fax：078-302-6485

○ ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1

Tel：078-302-1111（代表） Fax：078-302-6877

○ ワールド記念ホール

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-12-2

Tel：078-302-8781（代表） Fax：078-303-4006

○ 神戸商工会議所会館

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-1

Tel：078-303-5804（代表） Fax：078-303-2312

年会についてのお問合せ

第27回日本分子生物学会年会事務局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-4-63 新大阪千代田ビル別館9階

E-mail : mbsj2004@aeplan.co.jp

Tel : 06-6350-7247 Fax : 06-6350-7248

<会期中の問合せ先>

年会本部 Tel : 078-303-4000 Fax : 078-303-4001

(臨時電話とFAXですので、会期中のみの設置です。ご注意ください。)

第27回総会のご案内

第27回年会の第2日目に、日本分子生物学会第27回総会を、下記の要領により開催いたしますので、多くの会員のご出席をお願いいたします。

(会長 山本正幸)

記

日時：2004年12月9日(木) 18:30～19:30

場所：C会場(神戸国際会議場 1階メインホール)

(ご欠席の会員はこの会報に添付されている委任状をご提出下さい。)

日本分子生物学会三菱化学奨励賞授賞式および受賞講演のご案内

昨年度より設けられました「日本分子生物学会三菱化学奨励賞」の授賞式および受賞講演を下記の要領により開催いたします。

記

【授賞式】

日時：2004年12月9日(木) 18:30～

場所：C会場(神戸国際会議場 1階メインホール)

【受賞講演】

日時：2004年12月10日(金) 15:15～17:00

場所：L会場(ポートピアホテル 本館地下1階和楽)

日本分子生物学会 第5回春季シンポジウムのご案内

【開催期日】 平成17年5月15日(日)～17日(火)

【開催場所】 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

(日航ホテル新潟隣り)

新潟市万代島6番1号

TEL 025-246-8400 FAX 025-246-8411

<http://www.niigata-bandaijima.com/main.htm>

【会場】 国際会議室

中会議室 1室(301)

小会議室 2室(303、304)

【プログラム】

15日(日)午後 市民公開講座 吉川 寛 博士(JT生命誌研究館)

16日(月)午前・午後 招待講演及び一般講演(ポスター)

夕方 懇親会

17日(火)午前 招待講演及び一般講演(ポスター)

【招待講演者】(五十音順、敬称略)

五十嵐和彦(広島大大学院医歯薬総合研究科・医学部)

大野 茂男(横浜市立大・医学部)

貝淵 弘三(名古屋大大学院・医学系研究科)

清水 章(京都大・遺伝子実験施設)

須田 年生(慶応大・医学部)

高橋 考太(久留米大・分子生命科学研究所)

豊島 近(東京大・分子細胞生物学研究所)

根岸 学(京都大大学院・生命科学研究所)

濱田 博司(大阪大大学院・生命機能研究科) 他

【発表形式】

(1) 招待講師による講演: 30分間(講演25分、討論5分)

(2) ポスター発表: 約100演題を募集

ポスター発表申込締め切りは4月15日(金)の予定です。

【参加申込】4月28日(木)まで。

ホームページを立ち上げる予定ですが、お問い合わせは rykomina@med.niigata-u.ac.jp までお願い致します。

【参加費】 会員、非会員 5,000円(懇親会費を含みます)

学生(学部生、大学院生) 無料(懇親会にも参加出来ます)

【交通アクセス】

(<http://www.niigata-bandaijima.com/access/access0f.html> にてその他詳細のご案内があります)

佐渡汽船の出る港に隣接して、日航ホテル新潟に並んで建てられており、風光明媚です。

○JR新潟駅から

●タクシーで5分

●バスで10分

(新潟駅万代口バスターミナル6番線・新潟交通17系統佐渡汽船連絡「朱鷺メッセ」停留所下車)

●徒歩では約20分

- 新潟空港から
 - タクシーで20分
 - バスで20分と、徒歩で約10分
(新潟駅新潟空港線「万代シティバスセンター前」下車徒歩10分)

【オーガナイザー】五十嵐道弘(新潟大大学院・医歯学総合研究科)
木南 凌(新潟大大学院・医歯学総合研究科)

世話人代表

木南 凌

新潟大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子制御講座 分子生物学分野
(旧 生化学第一講座)

[rykomina@med.niigata-u.ac.jp]

〒951-8510 新潟市旭町通1番町757番地

TEL 025-227-2077 FAX 025-227-0757

学術賞、研究助成の本学会推薦について

本学会に推薦依頼あるいは案内のある学術賞、研究助成は、会報No. 77(2月号)に一覧として掲載しております。そのうち、応募にあたり学会等の推薦が必要なものについての本学会からの推薦は、本学会選考委員会または賞推薦委員会の審査に従って行います。応募希望の方は、直接助成先に問合せ、申請書類を各自お取寄せのうえ、ふるってご応募下さい。

本学会への推薦依頼の手続きは次の通りです。

1. 提出物

- 1) 本申請に必要な書類(オリジナルおよび募集要項に記載されている部数のコピー)
- 2) 研究助成・選考委員用および学会用控に、上記申請書類のコピー計6部(論文は不要)
(賞推薦の場合はコピー計7部をご提出下さい)
- 3) 申込受付確認のための返信封筒または葉書(返信用の宛名を記入しておいて下さい)

2. 提出先

賞推薦についての送付先

日本分子生物学会 賞推薦委員長 岡田 清孝

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科植物学

FAX : 075-753-4257

研究助成についての送付先

日本分子生物学会 研究助成・選考委員長 辻本 賀英

〒565-0871 吹田市山田丘2-2 大阪大学大学院医学系研究科 B8 遺伝子学

FAX : 06-6879-3369

3. 提出期限

財団等の締切の1カ月前まで。提出期限後に受取った場合や、提出書類が不備な場合は、選考の対象にならないことがあります。

各種学術集会、シンポジウム、講習会等のお知らせ

東京医科歯科大学

科学技術振興調整費「ライフサイエンス分野知財評価員養成制度」人材養成プログラム 生命科学の知的財産権に関する国際シンポジウム参加者募集

シンポジウム第1部

「導入から5年を迎えた日本バイドール法」

平成17年2月10日(木) 午前10時~午後3時40分

シンポジウム第2部

「特許法・研究倫理・知的財産法について」

平成17年2月18日(金) 午前10時~午後5時10分

会場：日本教育会館 一ツ橋ホール
(東京都千代田区一ツ橋)

講演者及びパネリスト：

黒川 清(日本学術会議議長) ランドール・レーダー(米国連邦控訴裁判所判事) 設楽隆一(東京高等裁判所判事) マーティン・エーデルマン(ジ

ョージ・ワシントン大学・法科大学院教授) 竹中俊子(ワシントン大学・法科大学院教授) 他

募集人数：500名

申込方法：下記URLをご覧ください。

申込先・問合せ先：

東京医科歯科大学知的財産本部・生命科学の知的財産権に関する国際シンポジウム事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F

Tel: 03-5818-5576 Fax: 03-5818-5572

E-mail: tmds.sympo@jvbttyo.com

URL: <http://www.tmd.ac.jp/tlo/>

千里ライフサイエンス技術講習会 第37回

「一分子顕微蛍光法とその応用」

日時：平成17年1月19日(水) 10:00~17:00

場所：千里ライフサイエンスセンタービル6階
千里ルーム

ねらい：

蛍光1分子可視化法や蛍光相関分光法により、細胞内や水溶性環境中における生体分子の動態や反応を個々の分子レベルで顕微計測することが可能になっている。それぞれの方法の原理と装置の概略、生物現象とくに細胞内分子システムの反応計測への応用例を紹介し、計測を体験していただく。

コーディネーター：

大阪大学大学院生命機能研究科 助教授 佐甲靖志
プログラム：

1. 全反射蛍光顕微鏡による蛍光1分子可視化法
大阪大学大学院生命機能研究科 助教授 佐甲靖志
2. 細胞内1分子可視化計測法の応用
大阪大学大学院生命機能研究科 博士研究員 上田昌宏
3. 蛍光相関分光法の原理と応用
北海道大学電子科学研究所超分子分光研究分野 助教授 金城政孝

定員：30名

参加費：5,000円

申込方法：

下記、を明記の上、FAXまたはE-mailで下記問合せ先にお申込み下さい。

氏名、勤務先、所属、役職名または学年、〒、所在地、電話、FAX番号。

蛍光1分子可視化法や蛍光相関分光法についての経験の程度。

申込締切り後、参加の可否と、参加いただく方には参加費の振込先口座番号をお知らせしますので、参加費をお振込み下さい。入金を確認次第、領収書兼参加証をお届けいたします。

申込締切り：

平成16年11月30日(財団必着)。但し、定員を超過した場合は参加者の調整をさせていただきます。

主催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団
協賛：

オリンパス株式会社
カールツァイス株式会社
株式会社ニコンインステック
ライカマイクロシステムズ株式会社
株式会社千里ライフサイエンスセンター

問合せ先：

財団法人千里ライフサイエンス振興財団
技術講習会 G37 係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル8階

TEL: 06-6873-2001 FAX: 06-6873-2002

E-mail: dnp-lsf@senri-lc.co.jp

URL: <http://www.senri-lc.co.jp>

その他

2005年度女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」および「奨励賞」候補者募集

女性科学者に明るい未来をの会より、「猿橋賞」および「奨励賞」候補者の推薦を依頼します。下記のとおり応募して下さい。募集内容、応募用紙などは各学会事務局に送付してありますが、電子メールでお申し出頂ければ、様式を添付ファイルでお送りします。また、<http://www.saruhashi.net/>からもダウンロードできます。

1. 猿橋賞

対象：推薦締切日に50才未満で、自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者
表彰内容：賞状、副賞として賞金30万円、毎年1件（1名）

2. 奨励賞

対象：推薦締切日に35才未満で、自然科学の分野で、優れた研究業績を挙げ、将来の発展が期待される女性研究者

表彰内容：賞状、副賞として賞金10万円、毎年1件（1名）

3. 締切日：2004年11月30日

応募方法：所定の用紙に、推薦者、候補者略歴、推薦理由、研究業績（猿橋賞は別刷り10編程度を添え）などを記入し、下記のとおり先へ送付して下さい。

応募先：〒166-0002 東京都杉並区高円寺4-29-2-217

「女性科学者に明るい未来をの会」

電子メールによる問合せ先：

saruhashi2005@saruhashi.net

平成17年度に委託する研究開発課題を募集します

（社）畜産技術協会では、平成17年度に委託する畜産技術に関連した研究開発課題を次のとおり募集（平成16年度内に募集、審査を実施）します。

1. 対象課題

「食料・農業・農村基本法」により国が定める畜産に関連する各種の計画や目標に対応し、食料の自給率向上、安定供給及び農業の持続的発展、農村振興に資する次のような目的・目標の課題。

- 1) 畜産の生産性向上
- 2) 高品質・安全で特色ある特産物の生産
- 3) 環境にやさしい畜産
- 4) ゆとりある安定的な畜産

2. 委託の期間及び金額

原則として、1課題につき2年間の総額で500万円以内（単年度の場合は250万円以内）とします。

委託契約・委託費の交付は単年度毎に行い、当協会内の「審査委員会」の評価及び課題担当者の自己評価により、評価し得る成果が得られる見込みがあると判定された場合には、次年度分の委託を継続するものといたします。

3. 委託の条件

- 1) 委託する研究開発課題の担当者の所属は、大学・民間企業・団体等としますが、委託契約等は、当協会と担当者が所属する機関の代表者との間で締結します。
- 2) 委託した当該年度毎に、所定の報告書を当協会へてご提出いただきます。
- 3) 委託期間終了後学会誌等に、得られた成果を当

協会からの支援によったことを記載した論文等により公表することといたします。なお、課題の性格によっては、その成果がマス・メディアに取り上げられる等により広報あるいは商品として発売されることを条件といたします。

- 4) 他の公的機関等が募集する同種のものへ応募している場合、あるいは既に外部から同一課題で委託を受けている場合は、委託できません。
 - 5) この資金により特許権等を取得し、当該特許により収益を得た場合は、その一部を納付していただくことがあります。
 - 6) 20万円以上の備品を購入することはできません。
- #### 4. 応募方法

応募要領と所定の申込み様式を下記問い合わせ先に請求の上、平成16年12月17日（金）[当協会必着]までに郵便にてお申し込み下さい（ファクス及び電子メールでの受付はいたしません）。

5. 応募課題の審査方法

当協会内部で一次評価を行った上、「企画審査委員会」の審査を経て選定します。選考は提出書類によりますが、必要に応じ現地調査等を行います。

応募課題の採否については、平成17年3月上旬を目処に応募者本人あて文書にて直接ご連絡いたしますが、ご応募いただいた書類等の返却はいたしません。

6. 採択された場合の手続き等

採択することが内定した研究開発課題につきましては、当協会が定める委託等実施要領の規程により、

平成 16 年度中に事業実施計画書のご提出をいただき、平成 17 年 4 月以降に委託契約の締結、委託費の交付等事務手続きを行うことといたしております。

採択課題の担当者名等は、原則として契約締結・委託費交付後に公表いたします。

【この応募要領に関するお問い合わせ先】

〒 113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9

社団法人 畜産技術協会 研究開発第一部

担当 福川・杉村

Tel: 03-3836-2301 Fax: 03-3836-2302

E-mail: jlta_3c@r4.dion.ne.jp

ホームページアドレス: jlta@group.lin.go.jp

日本分子生物学会 会報
年 3 回刊行

第 79 号 (2004 年 11 月)
発 行 : 日本分子生物学会 庶務幹事